

2/11 女子の浦川杯ウィンターカップ(2日目)観戦のため高津高校に行ってきました。

結果は以下の通りでした。

1試合目 天王寺 0vs2 高津

2試合目 天王寺 2vs0 枚方なぎさ



対戦した高津は秋の部別で4部降格、枚方なぎさは3部昇格したチームで、天王寺としては勝たなくてはいけない相手といえる。

前回の新人戦では出ていなかった1年生センターも入り、今日は、ほぼベストメンバーで臨んだのではないかと思うが、底冷えする寒さで、選手もなかなか体が温まるまでに時間がかかったのではないか。

エース(キャプテン)は、攻守の要であり、今日も調子は良く、レフト、バックアタックと、どこからでも打ち返せるが、多少担いで打つ傾向があり、良いトスが上がっても、山なりのボールになり良いコースに決まらなると拾われてしまっていた。ただし、どのアタッカーもそうだが、ラストボールを積極的にアタックで返球していたのは良かったと思う。

両センターも調子は良く、多少乱れたトスでも打っていた。時折Aクイックも決めていたが、もう少しパワーがあれば決定力も上がると感じた。

今日の相手はそれほど厳しいブロック、アタックもなかったが、こちらの攻撃力も決定力に欠けるため、どうしても粘り強くレシーブを繋いでいかないとポイントにならない。

レシーブが乱れた時はどうしても、レフトエースとセンターに頼りがちになり、攻撃が単調になってしまうので、もっとライトも使って攻撃の幅を持たせた方が楽な展開になるのではと思った。

サーブは足の長いサーブがある程度決まっており、連続サーブポイントもあったが、ほとんどが相手コート中央へのものであり、もっとストレート側のレフトアタッカーに取らせるなど工夫がほしい。

レシーブについては、サーブレ、アタックレともまずまずであったと思うが、ネット際に高く上がったレシーブをセッターが追い切れず、ネットのリバウンドボールが拾えないというケースが何度かあったので、丁寧に上に上げるレシーブを心掛けてほしい。

春に2部昇格を目指すには、まだまだ課題は多いが、コーチの指導方針もあり、あまり失敗を恐れず、思い切ってやっている姿勢を感じるので期待できそうです。

「攻撃は最大の防御」であり、果敢にラストボールを打ち込んでいく中で、スパイクの精度と強度が上がっていけば、さらなる高みにいけそうです。

河野先生、山中コーチ寒い中お疲れ様でした。